

自信の新星



水稲用初中期一発処理用除草剤

カチホロ

1キロ粒剤51

Lフロアブル

Lジャンボ



ノビエ



オモダカ



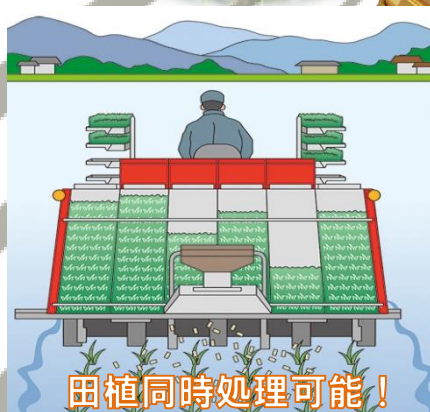
コナギ



ホタルイ



クログワイ



田植同時処理可能！

- ① ノビエに対して長期間残効を示します！
- ② S U 抵抗性雑草、多年生雑草に確かな効果！
- ③ イボクサ、クサネムにも高い効果！
- ④ 田植同時処理も可能！



1kg袋



10kg袋



500ml



2L



300g



900g

新登場!!

カチボシ

○1キロ粒剤51
イブフェンカルバゾン：2.5%
テフリルトリオン：2.0%
ベンスルフロンメチル：0.51%

○Lジャンボ
イブフェンカルバゾン：8.3%
テフリルトリオン：6.7%
ベンスルフロンメチル：1.7%

○Lフロアブル
イブフェンカルバゾン：5.0%
テフリルトリオン：4.0%
ベンスルフロンメチル：1.0%

特長

◆ノビエに対する長期残効性

新規有効成分イブフェンカルバゾンがノビエの発生を長期間抑えます。

◆SU抵抗性雑草に有効

SU抵抗性ホタルイ、コナギ、アゼナ類に対して高い効果を示します。

◆多年生雑草に有効

オモダカ、クログワイ、ホタルイ等に高い効果を示します。

◆田植同時処理も可能

移植直後から使用ができ、田植同時処理も可能です（粒剤、フロアブル）。

殺草スペクトラム（雑草発生前）※1

成分名 または 薬剤名	一年生雑草					多年生雑草					特殊 雑草		藻類	
	SU-R雑草※2													
	ノビエ	カヤツリグサ科	コナギ	アゼナ類	ホタルイ	マツバイ	ミズガヤツリ	ウリカワ	※3	※3	イボクサ	クサネム	アオミドロ	表層剥離
									オモダカ	クログワイ				
イブフェンカルバゾン	◎	◎	◎	◎	△	◎	○	×	×	×	○	◎	×	×
テフリルトリオン	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	◎	◎	×	×
ベンスルフロンメチル	×	◎	×	×	×	◎	◎	◎	◎	◎	×	○	◎	◎
カチボシ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

※1: 除草効果 ◎: 極大 ○: 大 △: 中 ×: 小 ※2: SU-R雑草: SU抵抗性雑草

※3: 発生の多い圃場は効果の高い薬剤との体系処理を行って下さい

適用雑草と使用方法

平成28年7月末日現在の登録内容

◆1キロ粒剤51

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	総使用回数※4	使用方法
移植水稲	水田一年生雑草 マツバイ、ホタルイ ミズガヤツリ、ウリカワ クログワイ、オモダカ ヒルムシロ、セリ アオミドロ・藻類による表層剥離	移植時	1kg/10a	本剤 1回 イブフェンカルバゾン 2回 テフリルトリオン 2回 ベンスルフロンメチル 2回	田植同時散布機で施用
		移植直後 ～ノビエ2.5葉期 但し、 移植後30日まで			湛水散布
直播水稲	水田一年生雑草 ホタルイ、ミズガヤツリ ウリカワ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期 ～ノビエ2.5葉期 但し、 収穫90日前まで	1kg/10a		

◆Lフロアブル（適用地帯：関東、東山、東海のみ抜粋）

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	総使用回数※4	使用方法
移植水稲	水田一年生雑草 マツバイ、ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ、クログワイ ヒルムシロ、セリ アオミドロ・藻類による表層剥離	移植時	砂壤土～埴土	500ml/10a	本剤 1回 イブフェンカルバゾン 2回 テフリルトリオン 2回 ベンスルフロンメチル 2回	田植同時散布機で施用
		移植直後 ～ノビエ2.5葉期 但し、 移植後30日まで				原液湛水散布

◆Lジャンボ

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	総使用回数※4	使用方法
移植水稲	水田一年生雑草 マツバイ、ホタルイ ミズガヤツリ、ウリカワ クログワイ、オモダカ ヒルムシロ、セリ アオミドロ・藻類による表層剥離	移植直後 ～ノビエ2.5葉期 但し、 移植後30日まで	小包装 (パック) 10個(300g) /10a	本剤 1回 イブフェンカルバゾン 2回 テフリルトリオン 2回 ベンスルフロンメチル 2回	水田に小包装(パック) のまま投げ入れる。
直播水稲	水田一年生雑草 マツバイ、ホタルイ ミズガヤツリ、ウリカワ ヒルムシロ、セリ アオミドロ・藻類による表層剥離	稲1葉期 ～ノビエ2.5葉期 但し、 収穫90日前まで			

※4: 収穫物への残留回避のため、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農業の総使用回数の制限を示す

■使用前にはラベルをよく読んでください。 ■ラベルの記載以外には使用しないでください。 ■本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
■空袋、空容器は環境に影響を与えないように適切に処理してください。 ■防除日誌を記載しましょう。